



# 七松小学校 学校だより

平成29年度

2月号

尼崎市立七松小学校

学校長 森本秀子

☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>

## 子どもの学ぶ力を育む家庭教育の大切さ —親子20分学習のすすめ—

2月4日は立春です。1月5日の「小寒」から立春までの30日間を「寒」といって、一年中で一番寒い時期となっています。この頃にいつも心配するのが、インフルエンザなどの風邪の流行です。市内でも1月中旬からインフルエンザが猛威をふるい、学校園で学級閉鎖が相次いでいます。本校でも感染拡大を防ぐために学級閉鎖をしたクラスが複数あります。うがい手洗いはもちろん、睡眠や栄養もしっかりとり、健康管理により一層気をつけて乗り切っていきたいと思います。

ところで、どの家庭でも、将来の自立に向けて、子どもには食事の仕方や歯みがきなど、生活習慣のしつけをしますが、ある専門家によれば、“学習のしつけ”も重要なのだといえます。その時期は、親と一緒に何かをするのが楽しい低学年で、小学校4年生までうまく学習のしつけをするかしないかで基礎学力の差がついてしまうそうです。学習のしつけといっても難しいことではなく、夕方お母さんが夕食の準備をするときに子どもをテーブルにつかせて、教科書やノートを広げさせる。宿題があればやる。なければ教科書を音読したり、漢字の書き取りをしたり、簡単な計算問題を解いたり、自然に勉強に馴染ませる。長い時間でなくてもいい。1日に20分もあれば充分。毎日が難しければ週に2～3日でもいい。お母さんの都合がつかないときは、お父さんとうまく連携して、夜、少しの間テレビのスイッチを切って時間を取る。この親子20分学習で大切なことは、決して子どもをしっかりと笑顔でほめながらするということです。私も子どもが小さいころに、字の書き方や消しゴムの使い方、時には手作りの漢字テストなども行いました。ほめながら行うというのが、本当に難しかったことを思い出します。高学年でもやってみると良いと思います。教育は思い立った時が一番大事で、遅いということはありません。こうして育まれた親子の絆や思い出は、子どもの学びの意欲を高めるだけでなく、生きる力も豊かに育てていくことは間違いありません。

### 「親子20分学習 例」

- ・本読み（今日、学校で習ったところ、大きな声で読ませてみましょう）
- ・消しゴムの使い方（間違った字を適当に消して、その上から書こうとするのはNG。どこを消すのか意識させ、片方の手でしっかり紙をおさえて、ていねいに消しましょう）
- ・漢字テスト（今日、習った漢字から5問。大きな字で、ていねいにかきましょう）
- ・暗誦（「くじらぐも」「スイミー」など、子どもはだいすきです）
- ・計算（九九の暗唱、百マス計算のミニ版・・・十六マスのたし算やかけ算）
- ・わからないことは、調べてみよう（辞書、図鑑、参考書、インターネットなど）